

経済指標レポート 第234号

(社)関西経済連合会 経済・経営グループ(担当:壺井)

Tel : 06 - 6441 - 0102 Fax : 06 - 6441 - 0443

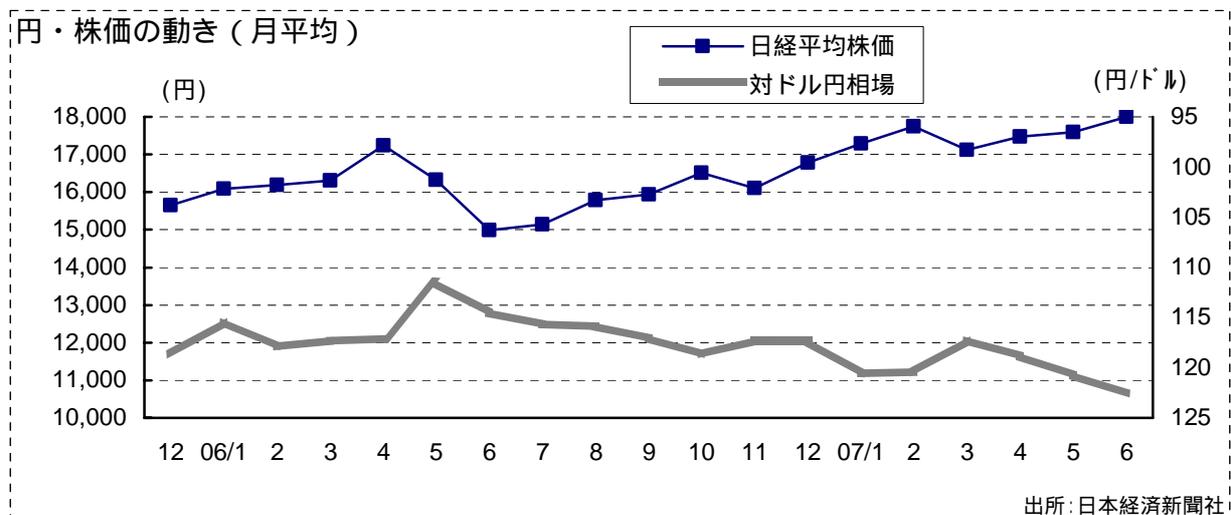
29日に行われた参院選では与党が非改選を含め過半数を大きく割る歴史的な惨敗を喫し、民主党が参院第一党に躍り出た。大きな注目を浴びた年金の記録漏れ問題、さらには相次ぐ失言や政治資金問題の発覚などの閣僚不祥事により、国民の安倍内閣への信頼は揺らぎ、厳しい審判を下した結果となった。

今回の結果については、国内市場ではある程度織り込み済みであったと考えられ、直ちに影響が出るとは考えにくい。しかし、消費税引き上げ論議の先送りや、株安・為替リスクの発生など、政局の不安定化が国内経済にもたらす影響は小さくない。

足元の国内経済は企業収益・雇用情勢の改善、設備投資の増加、個人消費の持ち直しなど、堅調に推移しており、内閣府が発表した7月の月例経済報告でも、前月に引き続き「生産の一部に弱さが見られるものの、回復している」との基調判断が示されている。先行きについても回復が続くと見込まれているが、先ごろより懸念が続いている「サブプライムローン」問題に起因する米国経済の減速、ならびに原油価格の高騰に、国内政局の不安定化が新たな当面の懸念材料として加わることとなり、今後の市場の動きにはより一層の注視が必要である。

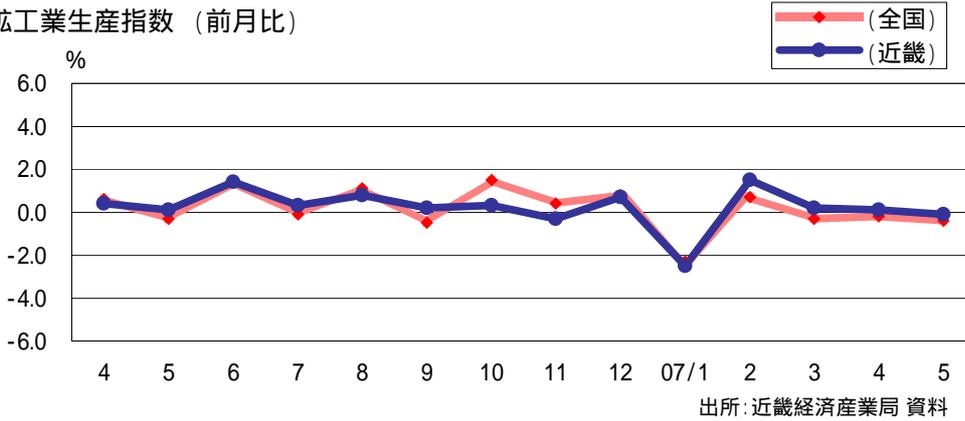
今回の選挙結果は、与党にとっては非常に厳しい結果を突きつけられた形となったが、この結果を真摯に受け止めた上で、構造改革路線が停滞することのないよう尽力してほしい。また、与野党ともに国内経済の停滞を招くような事態に陥らぬよう、全力で邁進することを期待したい。

各指標の動き



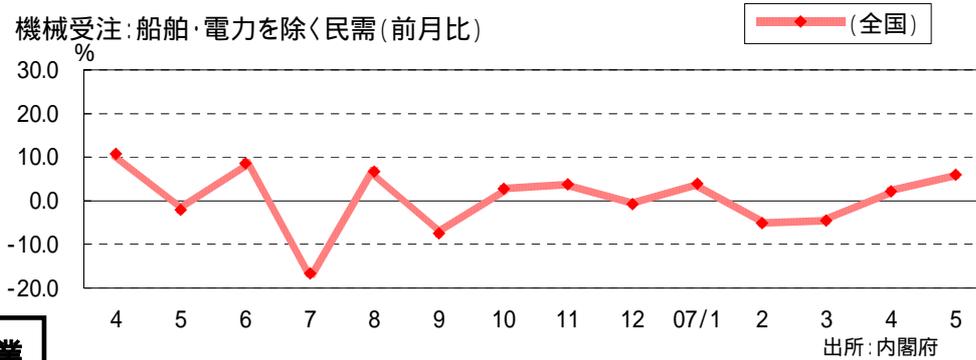
生産・機械受注

鉱工業生産指数 (前月比)



近畿は前月比 0.1% 減と 4 ヶ月ぶりに低下した。情報通信機械工業、電気機械工業、鉄鋼業などが低下に影響している。

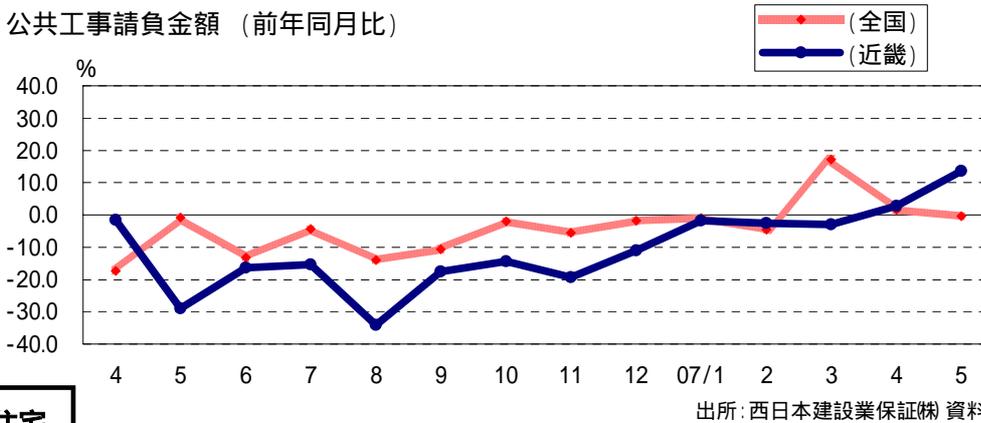
機械受注: 船舶・電力を除く民需 (前月比)



機械受注は前月比 5.9% 増となった。業種別の受注は製造業が同 15.3% 増だったが、非製造業 (船舶・電力を除く) は同 1.8% 減となった。

公共事業

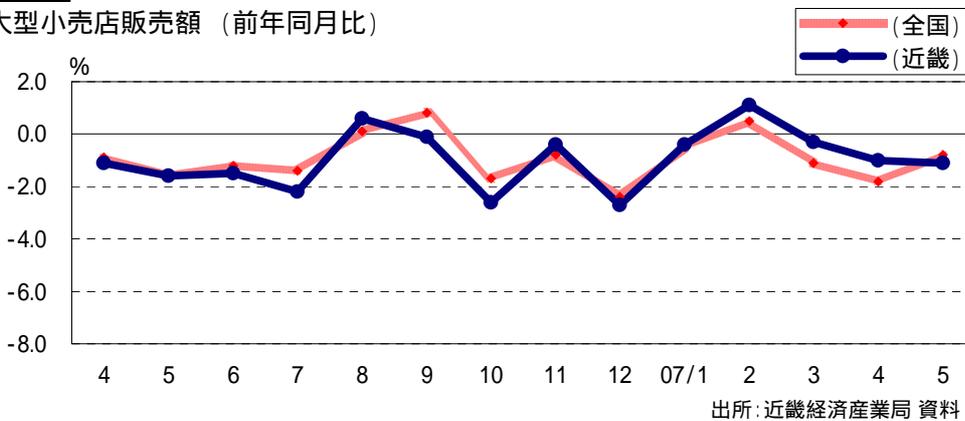
公共工事請負金額 (前年同月比)



近畿は前年同月比 13.6% 増。発注者別では「独立行政法人等」で第二名神高速等の大型工事、「国」で文部科学省による平城宮跡大極復元工事等が寄与。

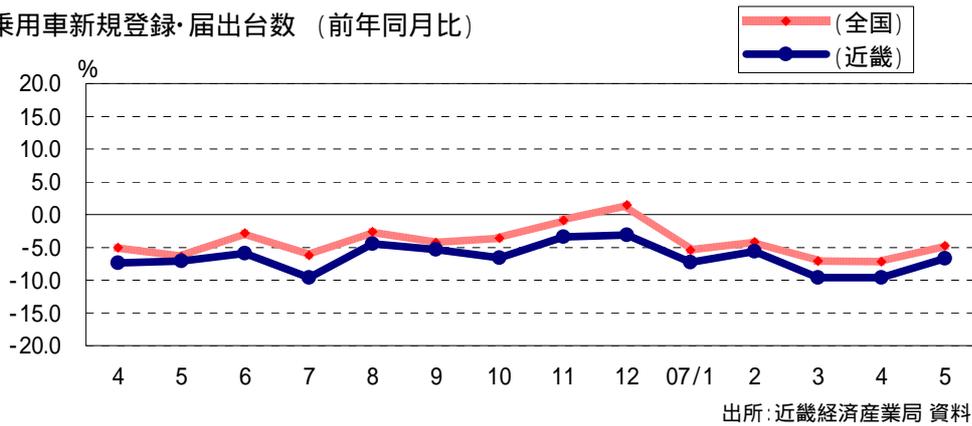
消費・住宅

大型小売店販売額 (前年同月比)



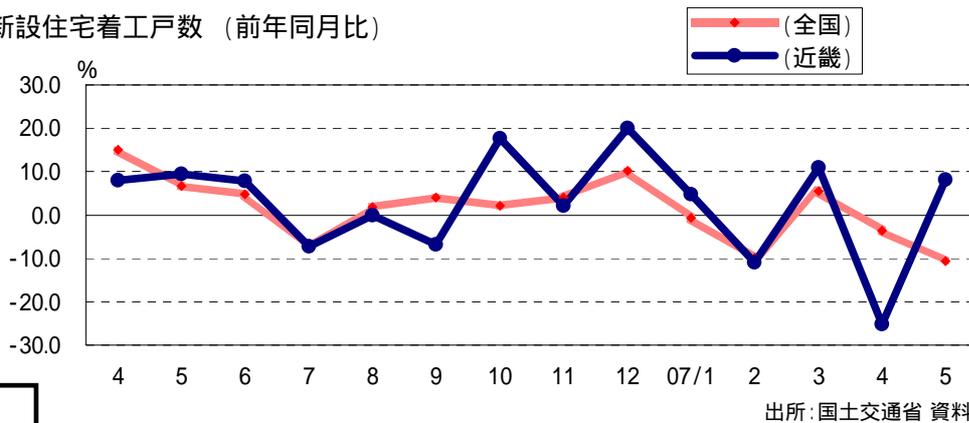
近畿は既存店ベースで前年同月比 1.1% 減と 3 ヶ月連続のマイナス。百貨店が同 3 ヶ月連続で、スーパーが同 8 ヶ月連続でマイナス。家具、身の回り品、衣料品などが不調。

乗用車新規登録・届出台数 (前年同月比)



近畿は前年同月比6.7%減と14ヶ月連続で前年を下回った。小型車が14ヶ月連続、普通車が3ヶ月連続で、軽四車が2ヶ月連続で前年を下回った。

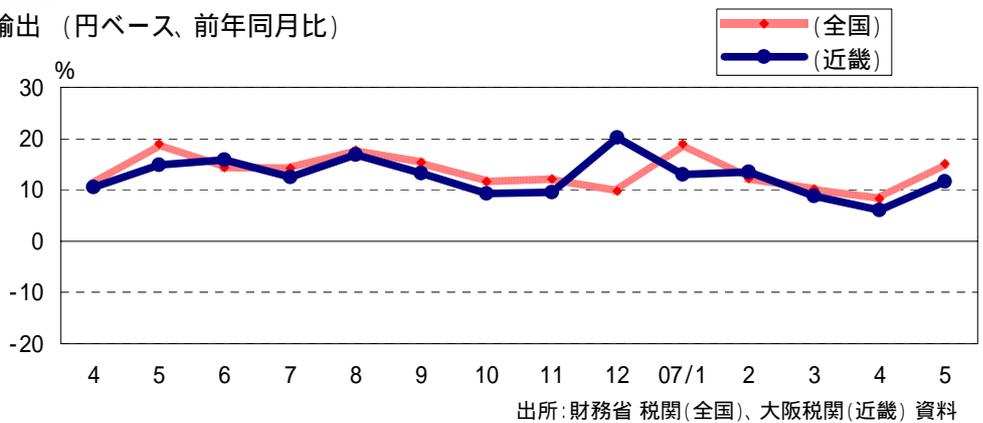
新設住宅着工戸数 (前年同月比)



近畿は前年同月比8.1%増で2ヶ月ぶりに前年を上回った。持家が4ヶ月連続で前年を下回ったものの、貸家が4ヶ月ぶり、分譲住宅が2ヶ月ぶりに前年を上回った。

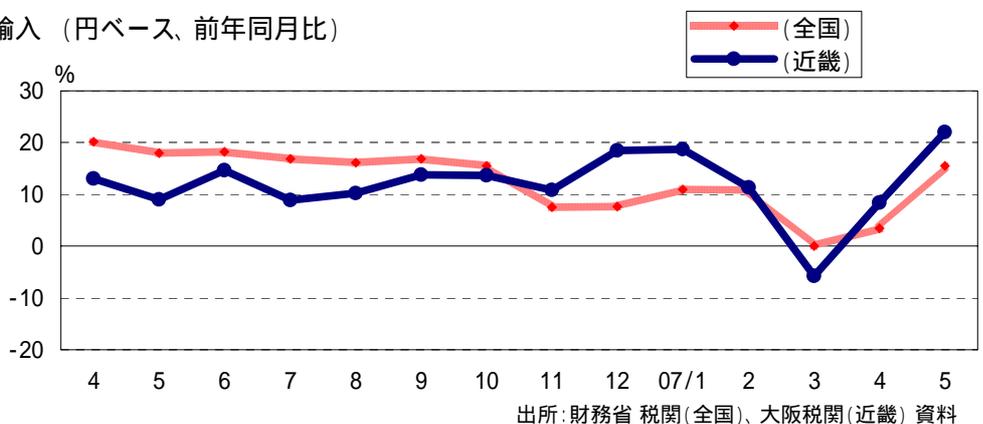
輸出入

輸出 (円ベース、前年同月比)



近畿は前年比11.6%増で62ヶ月連続のプラスとなった。有機化合物、プラスチック、鉄鋼、織物用糸・繊維製品などが増加。

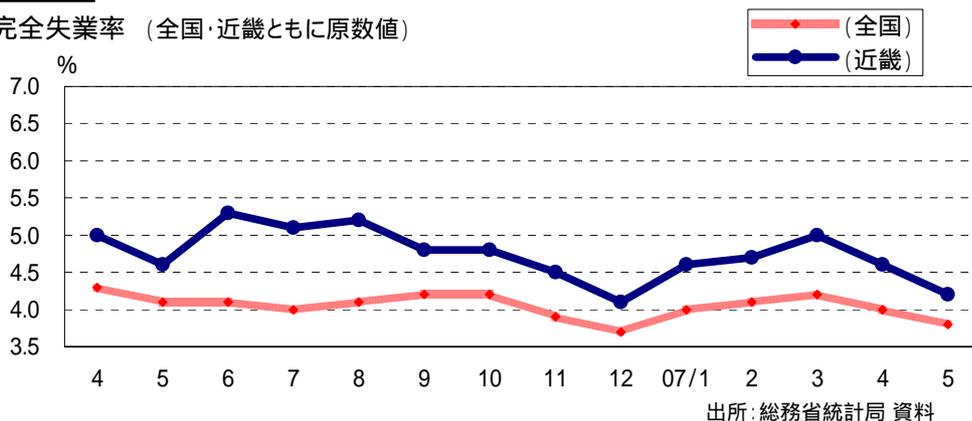
輸入 (円ベース、前年同月比)



近畿は前年比22.0%増となり、2ヶ月連続でプラスとなった。通信機、非鉄金属、鉄鋼、天然ガス・製造ガスなどの伸びが大きい。

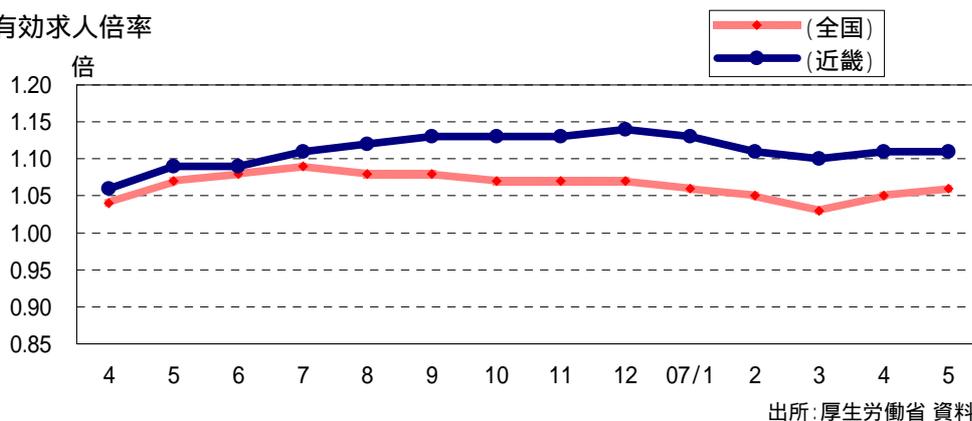
雇用・倒産

完全失業率（全国・近畿ともに原数値）



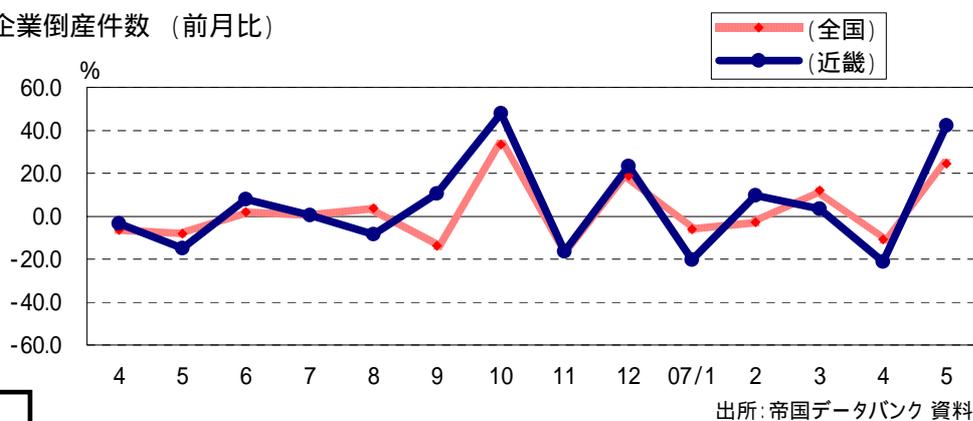
近畿の完全失業率は4.2%で、9ヶ月連続で前年を下回った。全国は3.8%となり、4%を切る結果となった。

有効求人倍率



近畿は前月と変わらず、1.11倍となった。引き続き全国（1.06倍）を上回る数値で推移している。

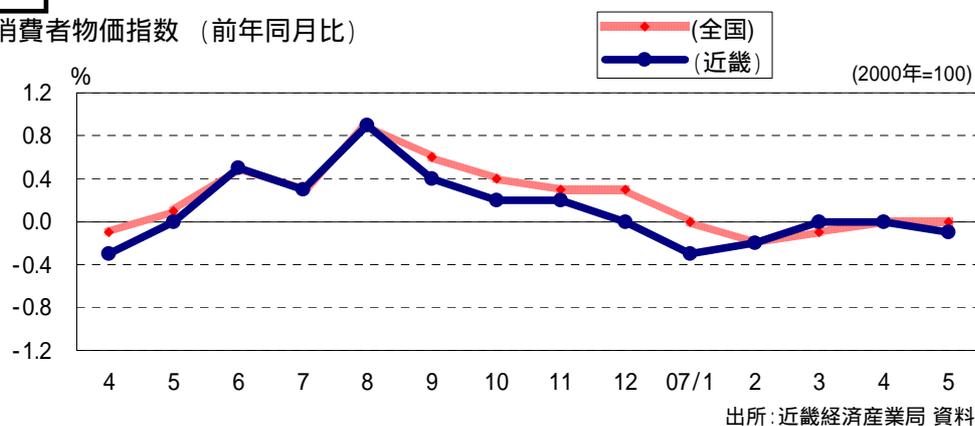
企業倒産件数（前月比）



近畿の倒産件数は前月比42.1%増。個人経営および資本金1000万円以下の企業が234件で全体の83.3%を占めている。

物価

消費者物価指数（前年同月比）



近畿は100.2で前年同月比0.1%減。教養娯楽、家具・家事用品、交通・通信、住居が低下。